

西臼杵地域の普及活動（普及活動月報）

令和 8 年 8 月 西臼杵支庁
（西臼杵農業改良普及センター）

目次

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1 【管内】普通期水稻の生育状況

II 主な普及指導活動等の取組み

1 「西臼杵地域プラン」に基づく普及活動

1 【高千穂町】高千穂地区営農振興協議会野菜部会(第3回)・現地検討会の開催

2 【高千穂町】遮熱資材の効果確認

3 【管内】ラナンキュラス球根冷蔵研修会の開催

4 【管内】高千穂地区営農振興協議会花き部会（第3回）の開催

5 【高千穂町・日之影町】くりの早生品種の生育調査を実施

6 【管内】高千穂地区営農振興協議会果樹部会（第3回）の開催

2 地域課題一覧に関する普及活動

1 【管内】リカレント研修の開催

2 【管内】農業経営体育成活動

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1 【管内】普通期水稻の生育状況

普及センターでは、各町にヒノヒカリ及び高温耐性を持つ新品種「ひなた舞」の調査ほ場を設置し、生育データの収集を行っています。

調査の結果、「ひなた舞」の出穂期は8月11日から29日となり、ヒノヒカリより10日ほど遅い結果となりました。引き続き、収穫まで毎週の巡回確認に加え、坪刈りや分解調査を実施する予定です。

収集したデータについては、今後の指導資料等に役立て、地域に還元してまいります。



【ひなた舞実証展示ほ】

II 主な普及指導活動等の取組み

1 「西臼杵地域プラン」に基づく普及活動

1 【高千穂町】

高千穂地区営農振興協議会野菜部会(第3回)・現地検討会の開催

28日、JA農産部及び高千穂町のピーマンほ場において、標記野菜部会を実施し、関係者9名が参加しました。

室内会議では、管内野菜の生育・出荷状況の共有や県野菜共進会の推薦候補者の選定について協議しました。また、支庁からは農産物の窃盗対策に関する周知徹底について情報提供が行われたほか、普及センターからは専門家による講演会の企画について提案を行いました。

現地検討会では、遮光資材や保水材の効果検証について意見交換を行いました。

今回の検討を通じて、高温や水不足、病害虫に対する指導強化の必要性を関係者間で改めて認識され、今後は、その対策の一環として、10月までに夏場の課題を整理し、12月には生産者を対象とした専門家による講演会を開催できるよう、関係機関と共に準備を進めてまいります。



【遮光資材の効果を検証】

2 【高千穂町】遮熱資材の効果確認

31日、高千穂町のミニトマトハウスにおいて高温対策に関する現地検討会を開催し、園主や関係者ら6名が参加しました。この取組は中山間地域の夏秋産地における高温対策に関する共同調査研究の一環であり、西米良・椎葉の両駐在担当と総合農業試験場の野菜専門技術員と実施しました。

当センターからは、検証している遮熱資材についてのこれまでの温度データや調査結果を中間報告しました。現地確認や意見交換を通じて遮熱資材の高い効果を確認し、園主からも作業性や収量が向上したと実感しているとのことでした。

引き続き、調査を進め、低コストで実践できる効果的な組み合わせを検証してまいります。



【遮熱資材の効果確認】

3 【管内】ラナンキュラス球根冷蔵研修会の開催

18日、普及センターにおいて、ラナンキュラス部会主催の標記研修会が開催され、生産者21名と関係者2名が参加しました。

研修会では、JA担当者と部会長から、近年の高温化に対応するため、球根を十分に冷蔵させ吸水させることと、定植時の腐敗に向けては殺虫剤処理を必ず実施するなど説明がありました。

普及センターからは、大苗育苗技術に関する情報提供と今年度の試験計画を協議し、「ウイルス対策チェック」を行いました。

今後は、アンケートの分析結果を現場指導に生かすとともに、特に新規就農者に対しては現地巡回を通じたきめ細かな個別指導により、安定生産に向けてサポートしてまいります。

4 【管内】高千穂地区営農振興協議会花き部会（第3回）の開催

24日、普及センターにおいて、標記花き部会を開催し、関係者10名が参加しました。

会議では、品目ごとに現在の生育状況や収穫・出荷に向けた進捗状況の共有が行われたほか、ホオズキの実績報告会や、ラナンキュラスの高温対策に向けた展示ほへの資材設置日などの今後の重要なスケジュールを確認しました。

また、今年度の「宮崎県花き共進会」の推薦候補者の選定や、生産者の技術向上に向けた視察研修先についても協議しました。

近年は、気候変動や資材価格の高騰など、生産現場にとって一層厳しい状況が続いています。引き続き、関係機関としっかりと連携を密にしながら、花き産地の振興と安定生産に向け取り組んでまいります。

5 【高千穂町・日之影町】くりの早生品種の生育調査を実施

3日と4日の2日間、高千穂町および日之影町内のくり園地を巡回し、関係者4名で標記生育調査を実施しました。

管内で栽培されている複数の早生品種について、出荷時期や生育の進み方の違いを把握するため、栽培品種の確認と着実状況を詳しく調査しました。今後は今回の調査データをしっかりと整理・分析する予定です。普及センターからは、地域ごとの気候や特性に適した「推奨品種」の選定や、生産性の高い栽培地域への絞り込みに向けた検討を進めてまいります。



【くりの早生品種の着実状況】

6 【管内】高千穂地区営農振興協議会果樹部会（第3回）の開催

24日、普及センターにおいて、標記果樹部会を開催し、関係者9名が参加しました。

会議では、今年度の各果樹品目の生育状況の確認をはじめ、県果樹共進会の推薦候補者の選定や、今後の視察研修について協議が行われました。また、普及センターからは「地域プラン」に基づいたクリの調査計画やリカレント研修について説明し、参加者と意見交換を行いました。

普及センターが広域体制となってから4ヶ月が経過しました。

今後も関係機関・団体と緊密に連携を図りながら、高千穂地区の果樹生産の振興と支援に力を入れてまいります。



【営農振興協議会果樹部会】

2 地域課題一覧に関する普及活動

1 【管内】リカレント研修の開催

県農業研修センター主催のリカレント研修がオンラインで開催され、管内の農業者や就農予定者、各町・JA職員等が参加しました。研修内容は、経営基礎、植物生理、農地制度、GAP、雇用確保、病虫害防除、マーケティングなどの7つの分野について各1回行いました。

研修後のアンケートからは、新たな知識を習得できた等の感想もあり、今後の農業経営に活かされることが期待されます。



【リカレント研修】

○日程及び内容、当日の受講者数

3日：経営基礎（5名）

10日：植物生理（1名）

19日：農地制度・農業者年金（3名）

20日：GAP（2名）

25日：雇用確保・労働管理（1名）、農業共済（5名）

26日：病虫害防除（4名）

28日：マーケティング（1名）

2 【管内】農業経営体育成活動

今年度から、普及センターでは、農業経営体育成活動として管内9戸をモデル経営体に選定し、各経営体の目標実現に向け、今後、経営分析や技術支援など実施していきます。

8月は、普及センター担当者が各モデル農家を訪問し、現在の経営状況や今後の目標等に関する話し合い（ヒアリング）を行いました。

今後は、各経営体ごとに聞き取った内容をもとに、今後の活動計画を作成していきます。



【モデル経営体ヒアリング】